

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

1月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



★「クロガネモチ モチノキ科」★

常緑高木。樹皮は灰白色でよく目立つ。和名が「苦勞がなく金持ち」と通じる事から縁起木として人気。



★「オガタマノキ モクレン科」★

日本で自生するモクレン科では唯一の常緑樹。ご神木とされる事が多い。花は直径3cm程と小さい。



「ナツミカン ミカン科」

明治時代に山口県で普及し全国に広まった。5月に花が咲き、実は晩秋に黄色く色づき翌年の初夏に熟す。



★「シタキソウ キョウチクトウ科」★

常緑つる性の多年草。長さ10cm程の実が対をなしている。割れて種髪（綿毛）のついた種子が出ている。



「ナンテン メギ科」

常緑低木。中国原産で古い時代に渡来したと言われている。縁起木として庭木などに人気がある。



「フユイチゴ バラ科」

つる性の常緑小低木。全体に短い毛はあるがトゲはない。キイチゴの仲間としては珍しく冬に実が熟す。



「スイセン ヒガンバナ科」

地中海沿岸が主な原産地の多年草。暖かい沿岸近くで野生化し群生している。良い香りがする。



「ツルコウジ サクラソウ科」

常緑小低木。全体的に柔らかい毛があり、茎が地面を這い群生する。葉の縁の鋸歯はあらい。実は直径約5mm。



「ヤブコウジ サクラソウ科」

常緑小低木。別名「十両」。古典園芸植物の一つ。葉の縁の鋸歯は細かい。実は直径約7mm。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

園地内のあちらこちらで様々な植物の果実を見る事ができます。

寒い日が続きますが、今しか観察できない植物や鳥たちに会いにきませんか(^0^)／

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2026年1月後半号
宇久井ビジターセンター



